

左の記事を読んで下の問いに答えましょう。



1 空欄A～Dに入る語句を次の中から選んで記号で書きましよう。(同じものを何度使ってもよい)

ア流星 イすい星
ウ衛星 エ惑星
オ恒星

木星とガリレオ衛星

□ 957 □

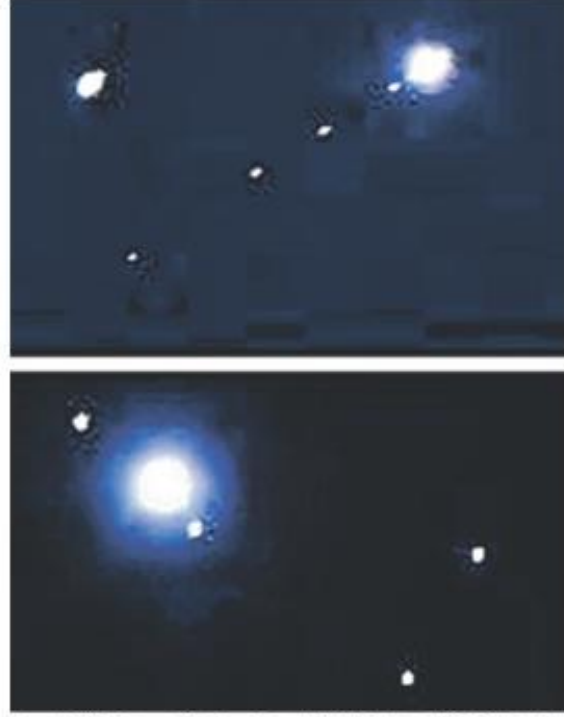
A	B
C	D

2 空欄Eに入る人物名をフルネームで書きましよう。

3 傍線部の「上弦の月」を絵で書きましよう。

空気が澄み、都会でも光害の影響が少なければ、星空をきれいに観察するのに良い季節になってきました。

星と言えば、金星、火星、木星、月、太陽、北極星やオリオン座などが良く知られていますね。夜空を見上げると、**A**である太陽の周りを回っている金星・火星・木星・土星などの**B**、**C**である地球の周りを回っている衛星の月、そして恒星がたくさん見えます。恒星は、巨大なのですが大変遠くにあるため、小さな惑星と同じように見えます。私たちが見ている星空はほとんどが**D**です。通常、衛星は月だけしか見



コンパクトデジカメで手取り撮影した木星といろいろな位置関係のガリレオ衛星。他の惑星や恒星が写ることも

デジカメ、双眼鏡で観察可能

ることができません。

月以外に衛星を見ることはできないのでしょうか。肉眼では困難ですが、望遠性能の良いデジカメや双眼鏡でも見ることができる衛星があります。それは木星の周りを回っている衛星の一部です。国立天文台によると、現在発見されている木星の衛星は90以上にもなるとのことですが、多くは小さいので見えないのですが、ガリレオ衛星と呼ばれる四つの衛星は大変大きく、見ることができます。

名前の通り、イタリアの天文学者**E**によって1610年に発見されました。ガリレオ手製の低倍率の望遠鏡でも観察できま

した。四つの衛星はそれぞれ木星の周りを、約1.76日▽3.55日▽7.16日▽16.7日―で1周するため、私たちから見た場合、常に四つの位置が目まぐるしく変わりながら、ほぼ直線状の位置関係でみることが出来ます。

今の季節、地球から見ると、木星は太陽とほぼ反対に位置するので、大変明るく宵の空に輝いて見ることが出来ます。2月くらいまではよく見えますよ。12月22日には、上弦を少し過ぎた月と接近して見られるようです。

スマートフォンを空にかざすことで、木星だけでなく、星の位置も教えてくれるモバイルアプリもあります。ぜひ木星の周りを回る衛星を観察してみてください。

(マレーシア国立マラヤ大学 栗岡誠司(写真も))

NIEワークシートのこたえ（2023年12月1日公開）

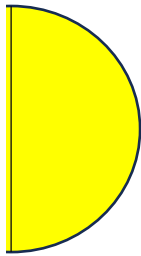
◆ワークシート「木星とガリレオ衛星(理科)」

2023.12.1付 朝刊 教育面 解答

1 A オ B 工 C 工 D オ

2 ガリレオ・ガリレイ

3



(右半分が明るい半月が書けていれば可)